

結んだりはばどいたりする

クリティカル・ライティング・ワークショップ

本ワークショップでは、異なる事象をアナロジーでつないだり、

似たようなアイデアを区別して整理したりする、

そうした言語化の作業を通じて、記述する力を養っていきます。

8月から9月の2ヶ月の間に文章の課題が2つあり、

8月26日には講師によるレクチャーがあります。

9月末に講師による添削ののち課題が返却されます。

参加が決定した方に課題の詳細、提出方法とメッセをお送り致します。

2023年8月26日土
15:30~18:30 (15:00開場)

場所 | 愛知県瀬戸市
Art Space & Cafe Barrack

受講料 | 無料 | 事前申込制
(定員10名ほど・先着順)

参加資格 | ●課題をすべて提出できる方
●8月26日のレクチャーに出席できる方

申込方法 | QRコード
申込フォームから



課題①

ゲオルグ・ジンメル「橋と扉」を読んで、気になった箇所をメモしてください。このテキストにある「結合」と「分割」を意識して、日々の出来事や、街中の風景、芸術経験、自分自身の内面描写など何でも結構ですので、なるべくたくさんメモしてください。

課題②

レクチャーを経て、3000字程度の批評文ないしエッセイを執筆してもらいます。

講師

西村 紗知 (批評家)

1990年鳥取生まれ。論考に「椎名林檎における母性の問題」(「すばる」2021年2月号、2021すばるクリティーク賞受賞作)、「グレン・グールドに一番近い場所」(「すばる」2021年9月号)、「お笑いの批評的方法論あるいはニッポンの社長について」(「文学界」2022年1月号)など。自分が何で批評家になったのか、実はまだよくわかっていません。

批評

愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114

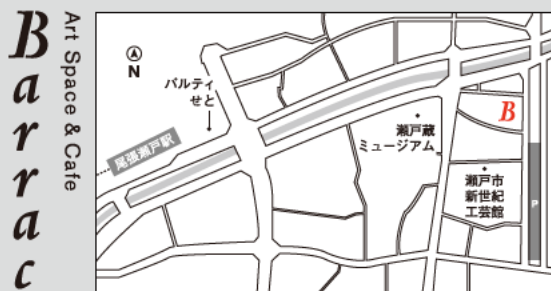
☎0561-76-2873 (受付時間 平日 9:00~17:30)

URL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

●主催:愛知県立芸術大学 愛知県立芸術大学

●企画:愛知県立芸術大学 社会連携センター

ACCESS



瀬戸市末広町1丁目 31-6 タネリスタジオビルディング1階

○名鉄瀬戸線尾張瀬戸駅より徒歩約6分

B
a
r
r
a
c
k
Art Space & Cafe